



# ザルツブルク・ モーツァルテウム 管弦楽団

*Mozarteum Orchestra  
Salzburg*



ザルツブルク音楽祭を飾る名門オーケストラ

今回は注目のピアニスト、モナ=飛鳥・オットを伴い、モーツァルト珠玉の名曲プログラム



©Seiichi Uozumi

## [モーツァルト・プログラム]

*Mozart Program*

交響曲 第39番 変ホ長調 K.543

*Symphony No.39 in E-flat major K, 543*

ピアノ協奏曲 第21番 ハ長調 K.467

*Piano Concerto No.21 in C major K, 467*

交響曲 第40番 ト短調 K.550

*Symphony No.40 in g minor K, 550*

ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団

*Mozarteum Orchestra Salzburg*

指揮：アイヴォー・ボルトン

*Ivor Bolton, Conductor*

ピアノ：モナ=飛鳥・オット

*Mona-Asuka Ott, Piano*



©Ben Wright

2011.9.21(水) 19時開演(18時20分開場) 東京オペラシティコンサートホール

*Wednesday 21 September, 2011 at 7:00p.m. Tokyo Operacity Concert Hall*

◎全指定席

S10,000円/A8,000円/B6,000円 4月22日(金)発売開始

◎お問合せ・電話予約

カメラータ・トウキョウ 03-5790-5560

インターネットでもお申込みいただけます <http://www.camerata.co.jp>

◎チケット取扱い

東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999

チケットぴあ 0570-02-9999 / e+(イープラス) <http://eplus.jp>

Confetti(カンフェティ) 0120-240-540 <http://confetti-web.com/>

ローソン・チケット 0570-000-407

主催：カメラータ・トウキョウ 協力：日本モーツァルト協会

# ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団

Mozarteum Orchester Salzburg



1841年モーツァルトの寡婦コンスタンツェの援助のもと、ザルツブルクの地元住民によって“ザルツブルク大聖堂音楽協会及びモーツァルト音楽院(モーツァルテウム)”として創設される。その後1908年、楽団名は現在の名称である“モーツァルテウム管弦楽団”と改名され、1958年以降はザルツブルク市より経済援助を受け活動を行っている。

歴代指揮者にはパウムガルトナー(在1917-38)をはじめ、メルツェンドルファー、ハーガー、グラーフ等の名称が名を連ね、ザルツブルク市出身のカラヤンとも密接な関係にあった。

現在の首席指揮者はアイヴォー・ボルトン(2004年就任)。

モーツァルテウム管は、ザルツブルク音楽祭祝祭大劇場とモーツァルテウム音楽院の大ホールで定期公演を行っている他、海外公演、著名国際音楽祭出演、CD録音を精力的に行っている。また、毎年行われるザルツブルク音楽祭のレギュラー・メンバーとしてモーツァルト・マチネーを行い、1月のモーツァルト週間にも出演している。さらにオペラ、オペレッタ、ミュージカル、バレエ公演もこなし、国際モーツァルト財団主催のコンサートでは現代作品の演奏を行っている。

## アイヴォー・ボルトン (指揮)

Tvor Bolton, Conductor

現在ヨーロッパで大きな注目を集めるボルトンは主にバロック作品およびモーツァルト、ハイドン等、古典派作品の分野において極めて高い評価を獲得している。

オペラ指揮者として、バイエルン国立歌劇場とは1994年より親密な関係が続いており数々のプロダクションを指揮、その貢献に対し、バイエルン劇場賞を受賞。また、2005年には同歌劇場の指揮者として初来日を果たしている。客演指揮者としてパリ国立オペラ、英国ロイヤルオペラを始め、ボローニャ、ブリュッセル、アムステルダム、シドニー、ベルリン、ジュネーヴ等、数々の歌劇場より招かれており、オーケストラ指揮者としてもニューヨーク・リンカーンセンター、チューリッヒ・トーンハレ管、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、ロッテルダム・フィル、ウィーン響、フライブルク・バロック・オーケストラ等を含むヨーロッパの主要オーケストラより招かれ客演している。またザルツブルク音楽祭には毎年出演。

2004年よりザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団の首席指揮者を務めている。



©Christian Schneider

## モナ=飛鳥・オット (ピアノ)

Mona-Asuka Ott, Piano

1991年ミュンヘン生まれ。ドイツ人と日本人の両親を持ち、2歳からピアノを始めて4歳で初舞台を踏む。早くから天才ピアニストとして知られ、グロートリアン・シュタインヴェーク・コンクール第1位、EPTA欧州ピアノ教育者連盟国際コンクール第1位等受賞歴も多数。

2004年リンダウの国際青年ピアノ音楽祭へ招かれてより、ミュンヘンのガスタイクやプリンツレーゲンテン劇場、ウィーンのコンツェルトハウス、アムステルダムのコンセルトヘボウ、ルール国際ピアノ音楽祭、キッシンゲン夏の音楽祭、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭、メックレンブルク・フォアポメルン音楽祭等へ出演して高い評価を得る。

2009年にはパイロイト音楽祭でリサイタルを行い、同年、2010年と南西ドイツ・フィルハーモニー交響楽団の欧州、日本、各ツアーへ参加して注目を集めた。巨匠エド・デ・ワールトや権威誌「フォノ・フォルム」が賞賛する女流ピアニストのライジングスター。現在はヴェルツブルク国立音楽大学特別奨学生として名ピアニストのベルント・グレムザーに師事している。



©Seichi Uozumi